

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、
『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』
の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年10月24日 NO.7(10月号)
岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)



進路決定状況 H26/10/24 現在



10月24日現在の3年生の**進路決定状況**をお知らせいたします。就職に関しては、順調に推移しており、応募者数48名のうち、その約**96%**に相当する46名の就職先が内定しました。また**管内**からは、応募者数の**65%**に相当する31名の内定をいただきました。感謝申し上げます。生徒達は、引き続き宮古・下閉伊地区の復興に貢献したいと考えております。

進学に関しては、これまでに8名の進学先が決まり、11名がこれからの大学・各種専門学校などの受験に向けて努力しています。

全員合格を目指し頑張りましょう!!

1 就職状況 内定率:96% (10月24日現在)

就職	応募者数	内定者(公務員・縁故を除く)				内定者計
		管内	県内	県外		
機械科	17	13	1	2	16	
電気電子科	14	7	1	5	13	
建築設備科	17	11	1	5	17	
計	48	31	3	12	46	

※受験待2名、公務員5名 等

2 進学状況

進学	応募者数	内訳	10月24日現在				計
			大学	専門	各種	状況	
機械科	6	応募	1	4	1	6	
		合格	2	1	3		
電気電子科	7	応募	4	3	0	7	
		合格	1	1	1		
建築設備科	6	応募	2	2	2	6	
		合格	2	2	4		
計	19	応募	7	9	3	19	
		合格	5	3	8		

1・2年生は次の3点に十分留意してください。①**服装・頭髪を整えよう!**(第一印象は外見から!)、②**欠席・遅刻・早退をしない**、③**部活動と勉強との両立をめざそう!**(部活動で人間性を、勉強で知識・課題解決能力を身につけよう!)

次に、今年度見事内定を決めた3年生から後輩諸君へのメッセージを紹介します。参考にしてください。

内定をいただいて(1)

建築設備科3年 佐々木 宏規 君
私が内定をいただいて思ったことがあります。それは、**学校の生活が大切**ということです。礼儀を学び、協調性を学び、そして責任感を学びました。その学んできたことを絶対に忘れずに、自分の将来に向かって頑張りたいです。そして、後輩達に伝えたいことがあります。それは、「**絶対にあきらめない**」ということです。あきらめなければ、必ず成功します。時間はあっという間に過ぎていきます。自分の人生は努力した結果で決まるのです。

内定をいただいて(2)

機械科3年 田中 健太 君
私が内定をいただいて思ったことは、面接や作文の練習をちゃんとやり合格できて良かったということと、入社後は、会社の期待を裏切らないように仕事をしっかりと頑張ろうということです。私にはアピールできることがありませんでしたが、面接では**皆勤**であることを堂々と話しました。皆勤が続いている後輩はこれからも休まないよう頑張った方が良いと思います。印象良く**自分のアピール**をしっかりとすれば、ちゃんと合格できると思います。頑張ってください。

第22回全国高等学校ロボット競技大会へ いざ出陣!!

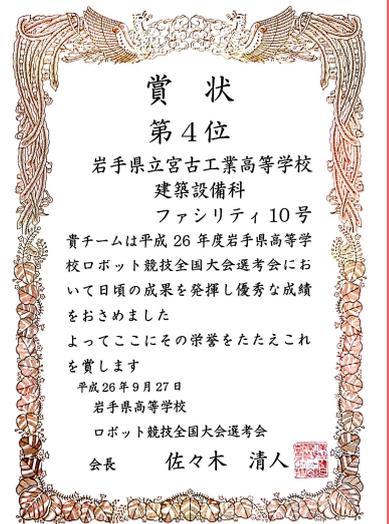
【建築設備科 ファシリティ10号】

岩手県高校ロボット競技全国大会選考会が9月27日(土)奥州市水沢区の水沢工業高校で開催され、本校**建築設備科**の「**ファシリティ10号**」は、見事**全国大会への出場権を獲得**しました。岩手県からは、水沢工業高校、盛岡工業高校、千厩高校、そして**宮古工業高校**の4校が**11月8(土)、9日(日)**の両日、宮城県利府町「**セキスイハイムスーパーアリーナ**」で開かれる全国大会に出場します。

岩手県選考会には、8校から13チームが出場し、生徒はロボットをリモコンで巧みに操縦し、自陣にあるプラスチックボトルや缶詰を、規定のエリアに入れて得点を競いました。操縦士の**山崎雅登君**は、「私たち、建築設備科ロボット班は、11月8日~9日、宮城県で行われる全国ロボット競技大会に出場します。今回の県大会で見つけた**問題点を改善**して、全国大会でも良い結果を残せるよう頑張ります。応援よろしくお祈りします」と意欲を見せています。また副操縦士の**山本千咲さん**は、「今回の大会では、予選から決勝リーグまでどの試合も負けたかなと思うくらい厳しいものばかりでしたが、**4位に入賞**することができました。全国大会では、去年の先輩方の結果を超えることができるよう頑張ってきたいです」と決意を新たにしています。



【図1】イメキャラ(上) 賞状(下)



【メンバー】

- ①柏谷 奨 君 ②箱石 翼 君 ③山崎 雅登 君
④山本 健太 君 ⑤山本 千咲さん 以上5名



【写真1】競技の様子(会場:水沢工業高校)



石川県立金沢北陵高等学校との 学校間交流(2年目)大成功!!

1 これまでの経緯(平成25年度:交流1年目)

これは、「東日本大震災で被災し困難に遭遇した宮古工業高校の生徒から地域貢献を学び、金沢北陵高校の新たな伝統づくりの契機にしたい」という金沢北陵高校同窓会長の強い思いから実現した、1年ごとに両校を訪問しあう学校間交流です。

平成25年度は本校が金沢を訪問しました。初日(10/4 金)の『絆のはじまり』と称した両校の生徒会交流会では、本校生徒会役員がパネルを持参し、金沢北陵高校の生徒や多くのテレビカメラを前に、震災体験や地域の復興ボランティア等に参加していることなどを自分達の言葉で立派に紹介しました。両校野球部による記念交歓試合終了後の、金沢北陵高校吹奏楽部・野球部・生徒会を交えた交流会では、金沢の和菓子や、ちらし寿司と郷土料理である「めった汁」をご馳走になり大いに語り合うことで、岩手と石川の高校生の心が一つに繋がった有意義な時間を過ごすことができました。

翌日(10/5 土)は、金沢北陵高校創立50周年記念式典に出席し、校長による記念講演の後、本校太鼓部による勇壮な演舞を披露いたしました。こうして、2日間に渡る第一回目の金沢北陵高校と宮古工業高校との交流会は成功裡に終了しました。

2 今年度(平成26年度:交流2年目)

交流2年目となる今年度は、金沢北陵高校が、10月17(金)日~18日(土)の2日間に渡り、本校を訪問しました。交流事業の内容などは次のとおりです。

(1) 石川県立金沢北陵高校交流事業実施要項

1 来校日	平成26年10月17日(金)~18日(土)		岩手県立宮古工業高等学校	
2 来校者	引率	校長1 職員8 同窓会・PTA 2 報道1 12名	57名	
	生徒	生徒会6 野球部27 JRC12	45名	
	ドライバー	大型バス1台 中型バス1台	4名	
※校長は10/17(金)午後13:40から合流予定				
3 対応生徒	生徒会(新・旧)20名 野球部30名 太鼓部9名 津波模型班7名(M3) 放送委員6名			
4 日程	M:機械科 E:電気電子科 F:建築設備科 ((例)F1:建築設備科1年)			
月日	時間	内容	備考	
10月16日(木)	8:00 19:00	金沢発 宮古着	行方ルート宮古 出迎え:八重樫・川村	
17日(金)	8:40 8:50	来校 <歓迎会>(次第・別紙) 両校代表挨拶 金沢北陵学校紹介・校歌披露 よさこい(ソラ)紹介(JRC部) 宮工紹介・宮工歓迎太鼓 記念品・お土産贈呈	生徒会 太鼓部 <第1体育館> 全校生徒、1校時カト [記念品] 校章(校歌演奏装置)、色紙 [お土産] キルギン、菓子(クッキー・ゼリー)	
	9:55		職員 <図書室> 男子 <第一会議室> 女子 <第二会議室>	
		生徒会	野球部	JRC
	10:05~10:35 10:40~11:00	津波模型実演 <精密実習室> 施設見学<機械科、電気電子科、建築設備科>	10:00~10:30 移動(宮工一近内) 10:30~12:00 近内公営住宅での交流	
11:00~12:00	生徒会交流(別紙) <工業基礎実習1>	11:00~11:45 昼食 <E科計測実習室> 11:45~12:00 着替え 12:00~13:00 準備 <カウチ>		
12:00~13:00	昼食 <工業基礎実習室2>		12:00~12:30 移動(近内一宮工) 12:30~13:00 昼食 <工業基礎実習室2>	
13:00~15:10 15:10~15:40 16:00~16:50 17:00	野球交流試合(別紙) 記念植樹(生徒会)、球根植え(JRC) 軽食交流会(野球部・生徒会・JRC) 宮工発	雨天時:(ｽﾎﾟｰﾂ交流、体育館) 家庭科(すり身汁、ひゅうず) 野球部父母会 18名 見送り:生徒会・野球部		
19:00~20:00	歓迎食事会(職員)		よし寿司	
18日(土)	9:30~10:30 11:00~12:30	田老地区視察(バス2台) 仮設住宅住民交流 岩手県立水産科学館	田老学ぶ防災 鎌ヶ崎小学校校庭F77ﾌｯﾄ 東日本大震災被災地復興写真展	
	13:00~14:00	昼食	浄土ヶ浜ｽﾄｰｽﾞ	
	14:30~15:10 15:30 16:00	浄土ヶ浜遊覧船 ｼｰﾄﾞﾋﾞｱなど 宮古発 夕食	夕飯弁当ﾊﾞｽ搬入 (副校長一ﾊﾞｽ)	
19日(日)	5:00	金沢着		

5 その他 ※工業基礎実習室はﾊﾞｰｼﾞｮﾝで区切り、1・2を設営する
 (1) 予算は支援金の交流費から支出する。
 (2) 金沢北陵高校担当 教諭 谷村誠一郎 TEL 076(258)1100 FAX 076(257)9090
 (3) 連絡先 行方ルート宮古 (71)3611 田老学ぶ防災(77)3305 ｶﾞｲﾄﾞ 080-5739-6423
 浄土ヶ浜遊覧船(62)3350 刈屋(弁当) (62)2967 よし寿司 (62)1017
 西野屋本店 (62)1688



【写真2】歓迎会



【写真3】歓迎会(一心太鼓)



【写真4】野球交流試合



【写真5】白熱した好ゲーム



【写真6】秋刀魚のすり身汁
(宮古工業野球部保護者会に感謝)



【写真7】記念植樹



【写真8】近内公営住宅での交流



【写真9】仲良く記念写真



【写真10】田老学ぶ防災



【写真11】たろう観光ホテル



【写真12】鎌ヶ崎交流会(生徒会)



【写真13】鎌ヶ崎交流会(JRC)

☆【報道】岩手日報(10月18日)、朝日新聞(10月23日)
NHK(10月17日)、IBC岩手放送(10月17日)

本校生徒のちょっとした思いやりの心がこんなに人の心を和ませてくれました。新聞に掲載された投書をご紹介します。



三陸の旅 風景と会話楽しむ

〇〇◇◇さん(札幌市)



◇10月上旬、紅葉し始めた北海道を背に夫婦で東北の旅をしました。三鉄の久慈駅から乗車すると学生服姿の男子3人と同席になりました。私が旅行者と分かると窓側の席を譲ってくれました。絶景に驚嘆の声を上げつつ、カメラを向けると、「窓を開けますか。その方がよく写りますよ」と声もかけてくれたのです。その優しさに心を打たれました。聞くと職場研修中の宮古工業高校2年生とのこと。田野畑駅までのわずかな時間でしたが、しつこく話しかけるおばあちゃんに嫌な顔一つせず応じてくれた若者たちに感謝、感激。主人もそのほほ笑ましい様子をカメラに収めていました。秋の三陸の風景も十分堪能し、おまけに生徒3人組との会話も楽しむことができ、思い出多き旅となりました。前回訪れた1年半前よりも復興した三陸の様子にも安堵しました。風景、人とのつながりを求め、またぜひ訪れたいと思った三陸、三鉄の旅でした。
【平成26年10月23日(木)岩手日報「声」】